

未来へつなぐ学ぶ場へ

西条中学校二年 岡本 叶夏

私はここ、東広島市西条町に生まれて十四年が経ちました。この十四年間で私は成長し西条は進化しました。例えば、以前はフジグランが建てられていた場所に、今は「東広島芸術文化ホールくらら」というコンサートをを行うホールや会議室、休憩スペースやカフェが入っている大きな施設になっています。その他にも、くらのすぐ前では小さな時計塔やたくさんの木々で囲まれていた中央公園がリニューアルされ、東広島市立美術館が建設されました。このように、この十四年間という月日の中で、私たちの憩いの場が増えていっているのです。そしてこの憩いの場は私たちが人とのつながりを感じ、つながりをつくるための良い場所になっていると思います。この「人とのつながり」も、未来の東広島が発展していくために欠かせないことだと思えます。これまで知り得なかった違う地域の方

々ともコミュニケーションをとることは、つ
ながりを増やすことや、これからの東広島を
担う私たちのコミュニケーション能力や多方
面からの意見や考えを取り入れる力を高める
ことに役立つと思うのです。

私が描く未来の東広島は、子どもたちの学
びとなることにあふれた場所です。学生であ
る私から見ると、現在の東広島は学習塾や予
備校は充実していますが、自主的に自分の好
きな分野を好きな時に学べる図書館の数にと
ても少ないと感じています。しかも、置いて
ある本の冊数が少なく、自習スペースがなか
ったり狭かったり、時に騒がしかったりし、
決して学びに良い環境とは思えません。私の
友人はわざわざ広島市内の図書館まで行き、
そこで何時間も勉強していると言います。そ
の友人が通っている図書館には、本がたくさ
んあり、百席以上も席が用意され、とても静
かな自習室もあるらしいのです。そこはまる
で受験会場のように、とても集中できて良い

場所だとも言っていました。その話を聞き、東広島市内にもそういう図書館があれば移動する時間も大幅に省くことができ、もっと定期的に通えるのに……と感じました。このよ
うな場所が東広島にもたくさんあれば、私の友人のように図書館で勉強したいという学生や子ども達から年配の方々までが、学生かどうかなどは関係なくどんな人にも訪れてもらえるような場所になります。そして、異年齢交流も増え、市民の憩いの場所になると思うのです。だから、私は東広島に図書館をたくさんつくと良いと思います。

また、西条では毎年秋ごろに「酒まつり」というイベントを開催しています。西条は日本三大銘酒と呼ばれる西条酒が有名です。西条酒を製造する酒蔵通りも、観光スポットとして有名で、外国人の観光客も多く見られます。その周辺で大勢でお酒を楽しんだり、屋台を巡ったりして西条を盛り上げる行事が、「酒まつり」です。実際には、二〇一九年には

三一八八万人もの人が訪れるほどのビックイ
ベントになっていきます。この「酒まつり」で
は、西条酒蔵で作られる西条酒をたくさん
人に楽しんでもらえて、さらに地元の小中学
生や大学生がボランティアとして参加し、祭
りを盛り上げることで西条を認知してもらえ
るという点から、西条という街をアピールす
ることができていて、とても良い企画だと思
います。この「酒まつり」のように、人々と
のつながりや交流をもてる行事を増やしてい
くことで、これからの東広島を担う子ども達
にとってもたくさん刺激を与え、新たな西
条の魅力を発信するためのものになっている
と思うのです。

もっと魅力的な東広島にするために私が言
えるただ一つのこととは、今の西条について一
人一人が考え、変えたい、変えようと思うこ
と、そしてそれを実現するために行動するこ
とが何よりも大切だということです。